

万承認を得協議せしめは願ふ事とありて 今由ふて此りと
之を異念に行かぬ事柄でありませう

よこ考へて見ると 空社の場合は世で一般の事やに似る様に
首を切られぬから余えなうなることゝも 採る 回覧とは金
く得て 貸付電が従来より 倉庫国な社会に成り 幾く
後世の自分には何著の 変更かたなりでありませうから 諸君
の 歎願の 出所にして 五十年の 反事か 待てたことゝも 程
一刻とし 宜まわらぬことゝも 程むし 無いては 身いふ人か
託意の 事は 付ては 親身は 考へて くれぬ人 創へば 両親とか
兄弟 親子に せしむ 相談と 控はつみせられ 事と 事と 作
程しませう

殊に 交通 様由に 従事す之は 一般 社会に 対する 責任が 人
一倍 重いのであらう ありませう 或る 家系に 社と 決して 迷惑も 撤
けぬ 殊に 資本 十分の 勘考して 載さたい
是れ 共 従 業員に 出の ぐ を みて 下す

任勢 便本 社
取員 一同

(其ノ三) 台解長トリツルノ...

④ 注意

昨日も 諸君の 行前を見え 座るに 安全 諸君 著に 名を 籍
いこふいやを 乱し 乘劣に 非常 下 迷惑を 掛けた 居る。

話 は 話 !! 仕事 は 仕事 !!

12 殊に 吾の 鐵道に 従事する 者 の 社会的 責任は 非常 に